

## 令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立馬込小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・学校全体で読書に取り組む場面を多く設定し、文章に触れる活動に取り組むことを通して、物語や説明文の内容を読み取る力を高めることができた。
- ・国語辞典や漢字辞典を活用する時間を意図的に設け、多くの言葉に触れることで、言葉の使い方や漢字を読み書きする力を身に付けることができた。

#### (2) 課題

- ・決められた分量まで書くこと、段落の構成を考えながら書くことが十分にできなかった。
- ・自分の考えやその理由をもち、文に書き表すことに課題が見られる。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（同一集団の経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	・目標値よりやや上回っている。	/	/
第5学年	・目標値よりやや上回っている。	・目標値よりやや下回っている。 (第4学年時)	/
第6学年	・目標値よりやや上回っている。	・目標値より大きく上回っている。 (第5学年時)	・目標値より上回っている。 (第4学年時)

#### (2) 令和7年度の結果分析（観点別）

##### ・中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の学習については理解が見られる。</li> <li>・漢字の読み書きに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の内容を読み取ったり聞き取ったりすることができる。</li> <li>・指定された長さまでの文章を書くことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを文章に書き表すことに課題が見られる。</li> </ul>

##### ・高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度までの漢字の読み書きについては定着が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の内容を読み取ったり指定された長さまでの文章を書いたりすることができる。</li> <li>・目的に応じて文章を簡単に書くことに課題がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを文章に書き表すことに課題が見られる。</li> </ul>

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### ・低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名、片仮名、漢字は、ミニテストやプリント学習で繰り返し練習し、既習事項の定着を図る。</li> <li>多層指導モデル（MIM）の教材を活用し、視覚化や動作化を取り入れながら言語理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の「書くこと」の単元や「かくってたのしいね」など、書く活動を取り入れる機会を意図的に増やし、一定量の文章を書くことに慣れさせていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを、児童がその後の学習や生活に生かしていけるよう、単元構成や発問、学習活動を工夫する。</li> <li>自分の思いや考えをもち、伝えられるよう、自分の考えを学習の中でもたせる発問や、「なぜかというところから。」等の話型の指導を継続して行う。</li> </ul>

#### ・中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年に比べ、配当漢字数が増加するため、ドリルを活用した繰り返しの練習や、ミニテストで定着を図る。</li> <li>国語辞典や漢字辞典を使う時間を設け、言葉に触れることへの抵抗感を減らし、言葉の意味の理解を深めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「書くって楽しいね」を活用して基本的な文章の書き方を定着させるとともに、「読むこと」の学習で、感想文などを取り入れ、組み立てを意識して文章を書く機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを、児童がその後の学習や生活に生かしていけるよう、単元構成や発問、学習活動を工夫する。</li> <li>学習の中で根拠をもって自分の考えをもつ時間を十分に設け、理由とともに伝え合う活動を行う。</li> </ul>

#### ・高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>本や新聞を読む時間を確保し、文章表現を豊かにしたり語彙力を伸ばしたりする。</li> <li>伝え合う活動などを行い、友達のを考えを聞く活動を多く取り入れる。</li> <li>5学年は「指示語」、6学年は「連体修飾語や敬語」について正しく理解するために文章の読み取りなどで意識して取り扱う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「書くって楽しいね」を活用して基本的な文章の書き方を定着させるとともに、「書くこと」の学習において一定量の文章を書くこと取り組ませる。</li> <li>目的や意図に応じて簡単に書いたりするとともに、事実と感想、意見と区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き方を工夫させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習を生かして考えをまとめることができるよう、教師からの発問を工夫したり、積極的に他者と関わらせたりしていく。</li> <li>意見文、要約文など、用途を意識して文章を書く練習に取り組ませる。</li> </ul>